

ともに

VOL. **17**
2025年
春号



小児外科医の挑戦

～傷が消える手術を目指して～

市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「ともに」を通じて市民の皆さんにお伝えいたします。



日帰り手術のご紹介



子どもと保護者にとって、「入院」そのものがストレスになります。病院に泊まらなくてもよい日帰り手術は、入院という不便さとストレスがなくなるため大変好評です。当院の小児外科手術の8割が日帰り手術です。

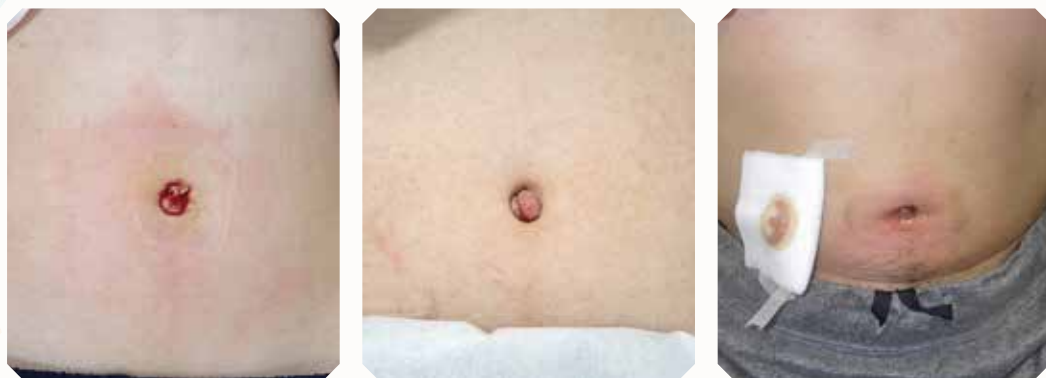


日帰り手術の一日

時 間	内 容
前 日 11:00	術前診察 11時に来院し、術前診察や手術・麻酔の説明後に帰宅（外泊）していただきます。
8:00	帰 院 病棟に戻ってきて体調チェックなどをします。
9:00	手術室入室 保護者と一緒に手術室へ行き、入口でお子さんをお預かりします。 
10:30	手術終了 手術室からお子さんが出てきたら保護者と一緒に病棟に戻ります。
12:30	経口摂取開始 手術2時間後から水分やおやつを食べられます。 
14:00	経過観察 プレイルームで遊んだりしながら経過観察します。 
15:00	おしっこが出たら点滴を抜きます
16:00	退 院 術後の経過に問題なければ退院できます。日帰り手術を希望しない場合や、術後の経過で入院したほうが良い場合は入院に切り替えます。無理やり退院させることはありませんので御安心ください。 

※誌面の「日帰り手術」とは、手術前日に術前診察や手術内容の説明などを行った後に一旦帰宅し、翌日に帰院して手術を受け退院するものです（手続き上は一泊二日入院になります）。

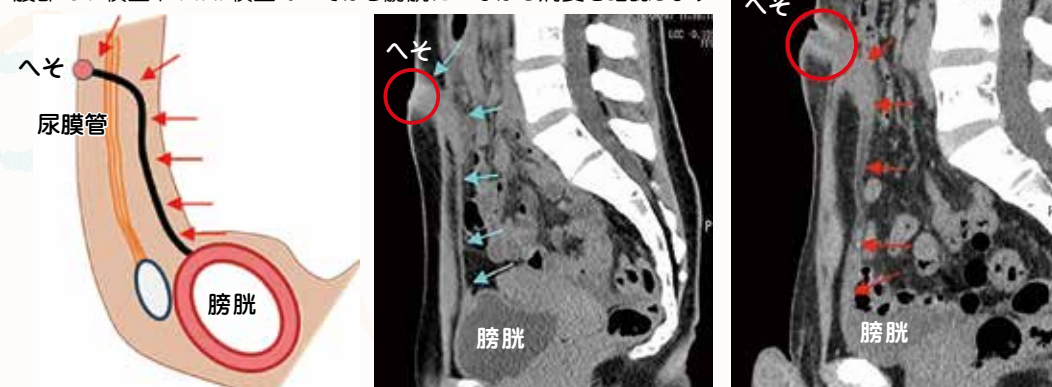
へそから血腫^{ちゆうむ}が出たり、赤く腫れたりして痛みます



② 尿管遺残症

胎児期の尿管は通常退縮しますが、これが残ってしまい瘻孔^{ろうこう}や嚢胞^{のうほう}を形成した病気が「尿管遺残症」です。成人の1〜2%に認めら

腹部 CT 検査や MRI 検査でへそから膀胱^{ぼうこう}につながる病変を確認します



れ、放置すると感染を繰り返したり発がんの報告もあるため手術が推奨されています。先天性疾患ですが大人になって発症することも多く、当院では大人の「尿管遺残症」も小児外科で手術しています。

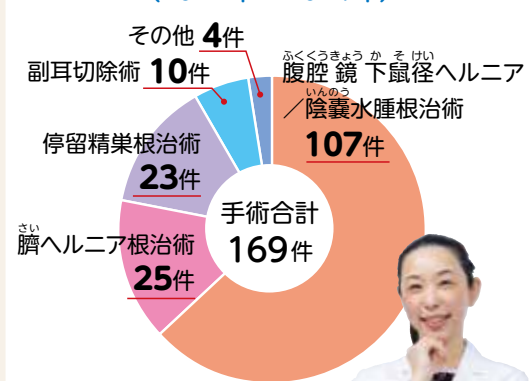
手術ではおへそから膀胱^{ぼうこう}までの尿管を摘出します。当院ではおへその傷だけの単孔式腹腔鏡^{ふくこうしきふくくうきやう}下尿管切除術^{かそけい}をしております。手術の傷はほぼ分からなくなり術後2日で退院できる場合が多いです。おへそだけの傷で手術する方法は技術的に難しいとされています。

当科での手術を希望して大阪府内だけではなく遠方の患者さんも来院されています。

尿管遺残手術入院の一日

時間	内容
手術前日 11:00	術前診察: 入院して術前診察や手術・麻酔説明を受けます。
18:00	夕食・入浴 夕食までは好きなものを食べてください。
手術前日 8:00	手術前: 朝食は食べられません。
9:00	手術室入室 病棟から手術室まで家族と歩いて向かいます。
11:30	手術終了: 手術について家族へ医師から説明します。
14:30	水分摂取開始 手術3時間後から水分を摂れます。吐くことがあるので少なめに。
18:00	夕食: 普通食を摂取できます。 手術直後なので食欲はあまりないかもしれません。
21:00	消灯 病棟の灯りが消えます。よく眠れるように痛み止めや眠くなるお薬を使います。
術後1日目 7:30	起床: 検温や診察があります。
8:00	朝食: 普通食を摂取します。点滴は抗生剤だけになります。
9:00	経過観察: 徐々に痛みが軽減します。
18:00	シャワー浴: シャワーでできます。頭から洗えます。
21:00	消灯: お薬が無くて眠れる程度の痛みです。
術後2日目 10:00	退院: 術後経過に問題がなければ点滴を抜いて退院します。心配な場合はもう1日病棟で経過観察します。

日帰り手術過去3年間の実績 (2022年~2024年)



※誌面の「日帰り手術」とは、手術前日に術前診察や手術内容の説明などを行った後に一旦帰宅し、翌日に帰院して手術を受け退院するものです(手術き上は一泊二日入院になります)。

傷が消える手術!?

小児外科は新生児から思春期までを主な対象とした外科ですが、成人期に発症する先天性疾患(生まれつきの病気)も対象になります。小児外科では手術によって残る傷痕でその成長と発達に影響が出ないように、できるだけ手術の傷が小さくなるような手術方法を取り入れて、傷痕が消えてしまう手術を目指しています。

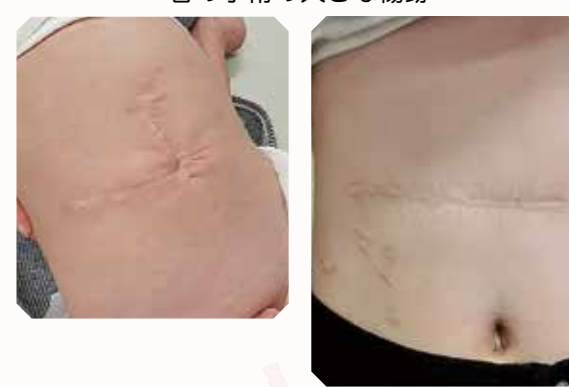
今号では、小児外科が取り組んでいる手術について御紹介します。



小児外科 部長
田中 夏美

手術では手術痕をできる限りきれいに目立たなくする配慮が重要です。おへそは臍帯脱落後の癒痕^{いこん}※1で、おへそを利用することで手術痕をできるだけ少なくできます。小児外科ではこのおへそを使ったさまざまな手術を工夫して行っています。今号では「急性虫垂炎」と「尿管遺残症」の手術について御紹介します。

昔の手術の大きな傷跡



昔は「Big surgeon makes Big incision」(偉大な外科医は傷も大きい)などと言って大きな傷で手術をするのを良しとした時代もありましたが、小児では手術痕の存在が本人や保護者にとって予想以上に心の負担となり、からかいやいじめの対象となる場合があります。

① 急性虫垂炎

いわゆる「盲腸」と呼ばれている病気です。右下腹部の痛みが特徴ですが、子どもは症状が分かりにくく、また腸の壁が薄いので破れやすいという問題があります。破れてしまうと、お腹の中に膿^{うみ}がたまるので治療に時間がかかり長期間の入院が必要になることもあります。



右下腹部が痛みます

治療方法には抗生剤治療と手術の2つがあります。手術は主に腹腔鏡^{ふくくうきやう}で行います。従来の腹腔鏡手術は腹部に複数の穴をあけて器具を挿入して行いますが、当院ではおへそに1か所だけ穴をあけて手術をします。おへそから幅5mmの細長いカメラと鉗子^{かんし}を挿入し、虫垂をおへそから引っ張り出して切除します。



傷はおへその中だけ!

手術翌日から食事を開始して翌々日に退院していただきますが、重症の虫垂炎の場合は入院が長期化することがあります。傷が小さいので痛みが少なく、術後はほとんど傷が分からなくなります。

単孔式腹腔鏡下虫垂切除術



※1 癒痕(はんこん) … 皮膚にできた傷跡のこと ※2 瘻孔(ろうこう) … 皮膚・粘膜や臓器の組織に、炎症などが原因で生じた管状の穴 ※3 嚢胞(のうほう) … 液状の内容物が入っている袋状のもの